

# AP 通信が、イベルメクチンに関するフェイクニュースを 訂正：

毒性の対照標準値はたった 2%、70%ではなかった

Adam Salazar / Infowars

September 6, 2021

<https://www.infowars.com/posts/ap-corrects-ivermectin-fake-news-only-2-poison-control-calls-not-70/>

AP 通信は、先月、ミシシッピ病院がイベルメクチンを摂り過ぎた患者であふれかえっていると主張する記事を、訂正することを発表した。

8月24日のこの記事は、「家畜の薬は Covid には効かない、と医者たちが警告」というものだったが、AP はこれを、ミシシッピ病院の毒性対照標準の 70%は、イベルメクチンに関係してこのいと、間違って報道していた。

<https://web.archive.org/web/20210824091236/https://apnews.com/article/health-coronavirus-pandemic-69c5f6d4476ca9b25bc7038e99a4a075>

ミシシッピの毒性対照規準センターの、最近の値の少なくとも 70%は、家畜の摂取物か、家畜取引所で購入したイベルメクチンの動物構成物に、関連するものであると、先週、ミシシッピ厚生省の職員は述べた。

しかし、この信頼されたメディア組織は、その 2 日後のアップデートで、彼らの本来の報告は 3,400 パーセント近く食い違っていること認め、大きな恥をかくことになった。

## 訂正：ウイルス流行-ミシシッピ物語

2021 年 8 月付の記事で、コロナウイルスを治療しようと、家畜用の薬を摂取している人々について、AP 通信は、ミシシッピ厚生省の情報のために、誤った報道をいたしました。これは、ミシシッピ毒性対照規準センターの、最近の 70%という割合を、Covid-19 を治療しようとして、イベルメクチンを摂取していた人々のものとする誤情報によるものです。

AP 通信 Aug. 25, 2021

同じような修正が、オリジナルの物語についてもなされ、その内容は編集されている。

<https://apnews.com/article/health-coronavirus-pandemic-69c5f6d4476ca9b25bc7038e99a4a075>

その誤りはあまりにも酷いもので、それ自体が独立の見出しとして出ていき、無数の AP シンジケートの間に配布された。

その記念碑的な失態は、その数字を間違えて伝えた、ミシシッピ厚生省の罪にされている。

この物語の前提そのものを、ほとんど台無しにする訂正であるにも関わらず、寄生虫対策のこの薬の効果を悪魔化しようとした、この記事には、何の修正も加えられていない。

この AP の訂正に続いて、ポッドキャストのホスト、Joe Rogan が Covid-19 にかかった後の治療として、イベルメクチンを服用したというニュースが語られる。2 日後に、彼は馬のように健康を取りもどした。

<https://www.npr.org/2021/09/01/1033485152/joe-rogan-covid-ivermectin>

<https://www.nbc4i.com/news/u-s-world/joe-rogan-says-he-tested-negative-for-covid-19-days-after-announcing-positive-diagnosis/>

同じように、雑誌「ローリング・ストーン」は、オクラホマの病院が、イベルメクチンを大量に接種した患者たちに大量に押しかけられたという、大衆向け物語の、アップデート版を発行せざるをえなくなった。<https://www.infowars.com/posts/viral-rolling-stone-story-about-ivermectin-patients-overwhelming-hospitals-was-made-up/> 問題のこの病院のネットワークは、これに反論する声明を出し、地方メディアや他のメディア局にそれを送っている。

その一方で、東京、日本のトップ医療官僚である尾崎治夫博士は、国民全体に、この薬を普及させることを求めており、予防的治療の方法として効果があるという、主要な統計結果を引用している。<https://www.infowars.com/posts/now-is-the-time-to-use-ivermectin-tokyos-medical-assoc-chairman-recommends-ivermectin-to-all-doctors-to-treat-covid/>

[訳者 Greatchain より]

日本ではこの他に、尼崎のクリニック医師・長尾和弘博士が、早くからイベルメクチンの効果を強調されており、また「世界日報」では、大村智博士が、イベルメクチンの開発者として、一兩日前にインタビューを受けている。

同趣旨のニュースが、にわかにも、いくつも現れており、世界各国にこのような動きがある以上、わが国政府も無視はできないはずだが、わが国が、もしあくまで、バイデン-ファウチ-国連-Great Reset の線を通すつもりなら、この命綱のようなイベルメクチンなど、話にもならないことになるだろう。どうか、今度決まる首相の良識によって、そうはならないことをお願いしたいが、この狂いに狂った、メディア中心の世界では、何が起こるか分からないことだけは、覚悟しておかねばなるまい。